

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	平成26年度 第1回 益田市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成26年8月27日（水）午前10時30分～11時45分
開催場所	益田市役所 市民学習センター1階102研修室
出席者	<p>【審議会委員】12名 大久保会長、安藤副会長、石川委員、藤井委員、寺井委員、寺戸委員 光永委員、松崎委員、牛尾委員、田中委員、川原委員、原委員</p> <p>【事務局】3名 永岡環境衛生課長、石川課長補佐、大谷廃棄物・保全係長</p> <p>【欠席者】3名 大畑委員、村上委員、渡辺委員</p>
議題	<p>【議題1】益田市のごみ処理の現状について 【議題2】平成26年度益田市ごみ処理実施計画について</p> <p>【議題3】その他（食品トレイの排出方法変更後の状況について、家具回収の実態について、その他）</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	無
審議経過	
議題1号	<p>益田市のごみ処理の現状について（報告事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> 燃やせるごみ（家庭系）については年々減少傾向にある。一方、燃やせるごみ（事業系）については増加傾向にある。 平成25年度のリサイクル売払実績は828万円。 27団体により集団回収も実施されている。
議題2号	<p>平成26年度益田市ごみ処理実施計画について（報告事項）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の1日1人あたりのごみ排出量は941g（全国平均976g）である。 年度比較では、平成22年度まで減少傾向にあったが、平成23年度～平成25年度まで増加傾向にあるため、よりごみ減量化の取り組みを進める必要がある。 ごみステーションに、旧ごみ袋使用で出されているケースが最近みられる。平成19年以前に購入されていたものが家庭に残っている可能性はあるが、ボランティア袋を活用されているケースもあると想定される。今後、旧ごみ袋の利用にあたっては管理の徹底をお願いしていきたい。 事業系ごみの排出の中で、トロ箱や一斗缶が大量にステーションに排出されるなど、事業系の一般廃棄物ではないものが混入されていることがある。 平成25年度も16団体の自治会や小学校に出向きごみ分別説明会を行った。

	<p>・家庭から出されるごみに医療系廃棄物が、毎月 10～20 件含まれている。廃棄する際は、かかりつけの医療機関に返却処理するように広報等で、周知を行った。</p>
【議題 1 及び 2 に関する質疑】	
委員	リサイクルプラザに日々搬入されるごみの分別が不徹底とあるがどんな状況か。
事務局	リサイクルプラザで収集されるごみは、容器包装プラスチックと埋め立てごみであるが、本来、それらのごみに混入していけない「缶や鉄」などのごみが、年間 11 t 近く混入しているのが現状です。
議題 3 号	<p>その他一食品トレイの排出方法変更後の状況について</p> <p>・食品トレイを出せる回数を増やし利便性を向上させるため、平成 25 年 4 月より容器包装プラスチックの日に食品トレイを出せるように変更した。</p> <p>そのため、平成 25 年度の排出量は前年に比較して 11 t 増加した。</p>
【議題 3 食品トレイに関する質疑】	
委員	容器包装プラスチックの排出日を増やせないか。
事務局	リサイクルプラザに於いては、ほぼ毎日分別処理を実施しているため、埋立てごみの月 2 回を 1 回に減らすことが可能なら対応が可能である。また、委託業務の契約の関係もあるため、平成 28 年からの新規契約に併せて検討することとしたい。
議題 3 号	<p>その他一家具回収の実態について</p> <p>木製家具については、平成 25 年度で 134 t 近く無料回収し、修理等を行い販売しているのは 5 t である。回収量の 3% 程度しか再生利用できていないのが現状である。今回正式な提案ではないが、再利用割合が 10% に満たない状況と大型ごみの片づけとなっている現状を考えると、他市と同様に処理費を一部負担頂く必要もあるかと思われる。</p>
委員	浜田市では、粗大ごみを処理する際、施設に持ち込まなければいけない。その点、益田市は回収もしているので、収集とセットで考えるなら有料化も理解し得る。
委員	処理の実態を考えると、粗大ごみ処理有料化は妥当性がある。
議題 3 号	<p>その他</p> <p>平成 26 年 4 月の消費税率 8% 導入後の他市を含めた指定ごみ袋価格の設定状況について説明。益田市では昨年の審議会でもご審議頂いた結果、価格を据え置いた。山陰 11 市の中で、価格を据え置いたのは、益田市を含めた 2 市であった。</p>
委員	他市の価格が安いのはなぜか。袋の価格決定根拠は何か。また、袋の製造価格も、今後の価格設定の際には比較してみる必要があるのではないか。
事務局	<p>益田市では、ごみ出しに利用する人ほど、負担いただく形になっている。</p> <p>ごみ袋の収入は、ごみ処理に要した経費の 10% 程度です。結局は税金でご負担頂くことになるので、袋で負担頂くか、税金で負担頂くかのどちらか</p>

	<p>になっている。</p> <p>袋の価格は、例えば家庭用燃やせるごみ袋の場合、中間処理費用等の半額程度を負担いただくことを根拠に設定している。</p> <p>袋の製造価格については、調べてみたい。</p>
委員	消費税 10%はまだ決定しているわけではないので、改めて議論したい。
委員	ごみ袋の広告の収入はどれくらいか。ごみに含まれる水分は何%か。生ごみの水切りを徹底するだけでもごみ減量化に繋がり経費負担が減ると思われる。また、ごみ袋に啓発文を入れたら毎日目にするため、減量化に効果があるのではないか。
事務局	袋の広告収入は年間 70 万程度です。ごみに含まれる水分は 50%程度です。袋の啓発文言の挿入については、実施する方向で検討したい。また、生ゴミ堆肥化の補助もしているので普及促進と、堆肥化後の堆肥の集積場所の設置等も検討したい。
【その他意見】	
委員	この審議会の名称に「減量等」とあるように、どの様にごみを減量化していくかについても議題としていただきたい。
委員	自治会長さんより、有料化しているので、ごみはもう少し回収してもらわないと困るとの意見があった。ごみの指導は住民だけでは難しいのが現状である。今回の意見を今後のごみ行政に反映させるようお願いしたい。
事務局	業者には、回収は概ね分別できていれば回収するように指導している。
委員	ごみ出し困難者のごみが残っていることが多い。ごみ出し困難者への対応はどうなっているか。
事務局	ふれあい収集制度があり、現在 140 世帯回収している。ヘルパーやケアマネの申請が望ましいが、自治会、民生委員による申請も可能です。
問合せ先	福祉環境部環境衛生課 電話 31-0232